

霞堤の機能について

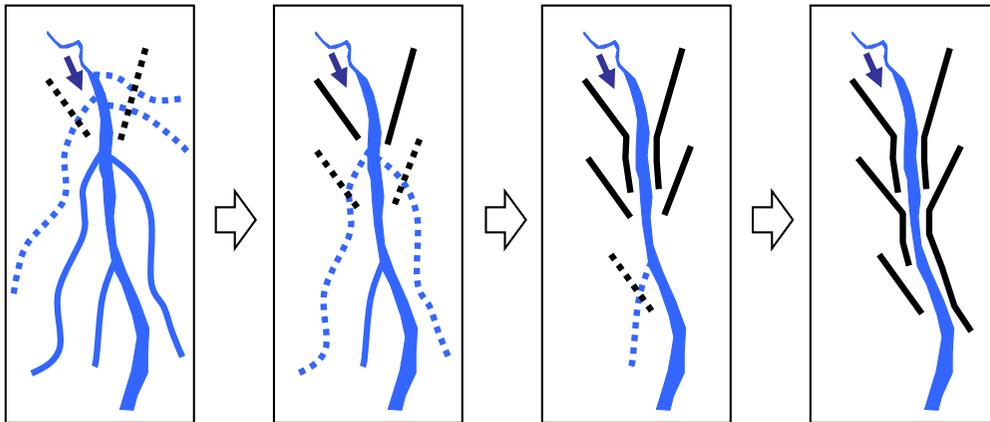
霞堤とは

- ・堤防の下流端を開放し、下流側の次の堤防の上流端を堤内に延長させ、堤防を重複させるように作った不連続な堤防で、洪水調節や内水排除等に効果

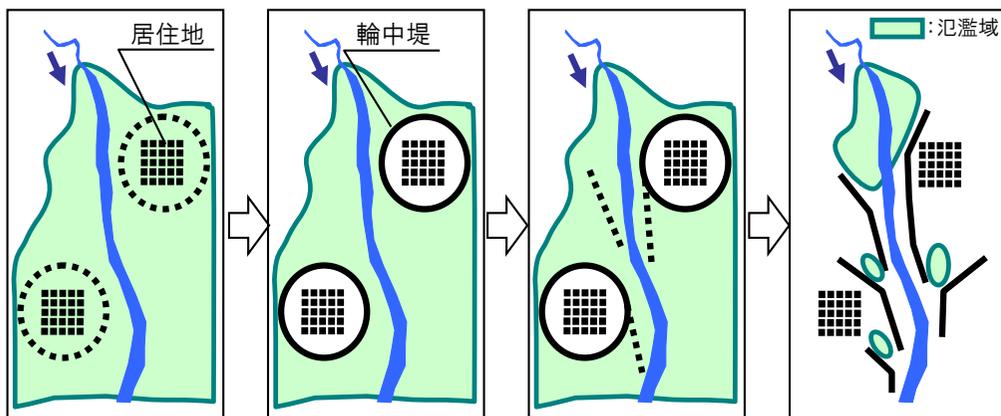
霞堤の形成

○霞堤については、主に以下の形成過程がある。

- ①急流河川における流路を固定するため、広い範囲に乱流している河川を上流から、順次水制的役割を持たせて導流



- ②輪中堤で居住地のみを守ったのち、新田開発等により堤防延伸し、部分的に従来の遊水地部を存置



霞堤の機能

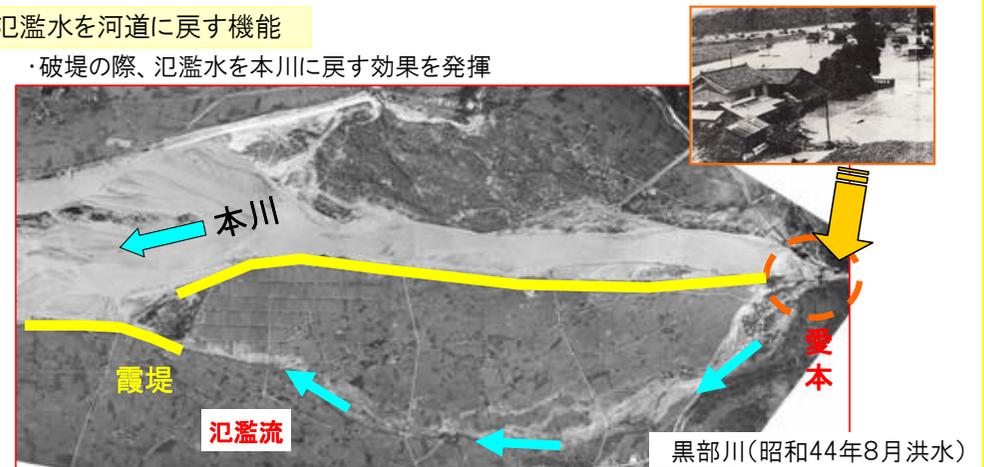
- ①洪水調節(洪水時遊水機能)
 - ・開口部から一時的に洪水を遊水させ洪水調節効果を発揮
 - ・特に緩流河川において効果的である



- ②内水及び支川排水
 - ・開口部に入る支川の排水や内水排除を行うもの
 - ・樋門が不要となり、本支川の連続性が確保できる



- ③氾濫水を河道に戻す機能
 - ・破堤の際、氾濫水を本川に戻す効果を発揮



- ④二線堤としての機能
 - ・本堤が破堤した場合、氾濫水の拡大を防止